

令和 4 年 3 月 15 日

愛知県知事 大村 秀章 殿

所在地 愛知県名古屋市千種区宮根台1-15-16  
名称 NPO人にやさしい色づかいをすすめる会  
代表者氏名 富永 さかえ

## 「カラーユニバーサルデザイン普及キャラバン隊事業」完了報告書

### 記

#### 1 事業名

カラーユニバーサルデザイン普及キャラバン隊事業

- ・事業目的：ワークショップをとおして色覚の多様性について理解を深め、カラーユニバーサルデザインの必要性を認識するとともに、カラーユニバーサルデザインの普及促進を目的とする。
- ・委託契約期間：令和3（2021）年8月23日～令和4（2022）年3月31日
- ・契約金額：469,975円（事業支出総額 472,003円）

#### 2 実施内容

愛知県内の以下5市の市役所庁舎において、市町村職員を対象に2021年11月8日～2022年2月8日の4ヶ月間に計5回、各2時間の講座「カラーユニバーサルデザイン推進支援講座」をすべて滞りなく実施した。なお会場では、入室時の消毒、換気およびソーシャルディスタンスの確保によって新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を行った。

2021年11月2日（火）	岡崎市役所	10人参加	
2021年12月8日（水）	豊田市役所	58人（Web15人含む）参加	
2021年12月14日（火）	西尾市役所	35人参加	
2021年12月22日（水）	北名古屋市	22人参加	
2022年2月8日（火）	犬山市役所	28人参加	※ 総参加人数:153

講座の有効性については、参加者より高い評価を得ることができた。実際に、講座時間内に実施したアンケートでは、講座が有益だったかの問いに対して回答者全体の85パーセントが「ひじょうに有益だった」と回答し、「まあまあ有益だった」を含めると99

パーセントであったことから確認される（資料03参照）。また、講座の実質的な成果として以下の3点について付記しておきたい。

- ・豊田市役所が色弱模擬フィルタ（バリエントール）購入の検討に入ったこと。バリエントールは、講座内で使用し、色弱者の見え方をシミュレーションするツールとして紹介したものであり、市役所での CUD 普及がさらに進むことを期待したい。
- ・北名古屋市が発行する広報誌の色づかいが、色弱者にとってやさしいものに変更されたこと（見分けにくかった配色が見分けやすいものになった）。講座内で色弱当事者の講師が広報誌の製作者に見え方を直接伝え、その声が届いたかたちとなった。情報を発信する側に立つ市職員に色弱者の声を届けるルートさえあれば、その声は確実に届く。そのことを実感する機会となった。
- ・犬山市消防本部予防課への CUD に関する資料提供。講座には消防本部からも参加があり、トリアージ・タッグ CUD 認証見本を参考として提供したところ、CUD の視点を得たことで気づくことが多く、今後の業務に生かしたいとの返信があり、講座のひとつの成果として手応えを感じた。

### 3 添付書類

- ①資料01：カラーユニバーサルデザイン普及キャラバン隊事業派遣応募用紙および事業内容（いずれも愛知県福祉局福祉部障害福祉課作成）
- ②資料02：講座内容に関する当日の配布資料
  - ・講義スライド資料（第二部 PC を用いたワーク用スライド2種）
  - ・ワークシートおよびアンケート用紙
  - ・CUD 事例解説チラシ（NPO 人にやさしい色づかいをすすめる会、2021年）
  - ・『すべての人にやさしい情報を届けよう～視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック～』（愛知県健康福祉部障害福祉課、2018年）
  - ・『カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ガイドブック（第2版）』（カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会、2018年）
  - ・チョット塗りペイントカラーバリアフリーおよびカラーバリアフリーマーキングステッカー（株式会社ソフト99コーポレーションによる CUD マーク認証商品、犬山市にて配布）
- ③資料03：ワークシートおよびアンケート集計結果報告（参加者の CUD に関する意識、講座の評価や感想等）
- ④資料04：講座の記録写真

以上